

## **平成26年度地域懇談会のまとめ**

### 1 テーマの説明について

テーマについて担当課により、プロジェクターを使用し説明を行いました。キーワード、表、グラフなどを、プロジェクターを使用して視覚的に伝えられたこともあり、多くの方に理解していただけました。

しかし、北地域、中地域ではプロジェクターの資料を配布しなかったため、より分かりやすくなるよう資料を配布することや、高齢者にも伝わりやすいよう、説明が早くならないよう配慮が必要でした。

### 2 懇談の進め方について

前回まではテーマにかかわる団体等から代表の方にパネラーとして出席していただき、パネラーと町執行部を含めた町長と懇談を行っていました。そのため、パネラーでない参加者は発言することができず、懇談を聞くことしかできませんでした。そこで、今回の懇談会はパネラー方式とせず、参加いただいた方が発言できることとしました。

これにより、発言を希望する人が発言でき、その結果より多くの意見を聞くことができるなど、今回の進め方については、おおむね肯定的なご意見をいただきました。しかし、普段とは違う懇談会の会場内で、実際に発言することは勇気が必要なようでした。

また、テーマについて意見交換が深まるよう、グループワークの実施などのご意見をいただきました。

### 3 テーマについての意見、アイデア

北地域は外坪、中地域はさつきヶ丘そして南地域は大屋敷、というように3地域それぞれにサロン活動が行われています。また懇談会の中でもサロン活動についてお話を聞くことができたこともあり、サロン活動の実施や、その充実に関するご意見が多数ありました。

#### ○主な意見、アイデア

主な意見、アイデア等	町の考え
<u>サロン活動について</u> 実際にやっている方から、楽しそうなコメントがありました。一方でなかなか集まらない、という話もあります。 また、サロンをやってみたい、サロンでやってみたいことの提案もありました。	サロン活動に参加してみたい方、またサロン活動を行ってみたい方は、ご連絡ください。サロン活動の紹介や相談に応じます。 また、地域でサロン活動等があればぜひお知らせください。支援についてご協議させていただきたいと考えています。 なお、サロン活動は、継続していくことが大切です。そのためにも歩けるところにある身近な集会所の活用は有効と考えています。
<u>あいさつをはじめとした声かけと見守りについて</u> 手軽で子供から高齢者までできることもあり、あいさつ運動や声かけの提案がありました。	声かけ（あいさつ）からコミュニケーションが始まります。あいさつがない、希薄なことは安心して暮らしやすいまちづくりと相反するものです。改めて声かけ（あいさつ）の必要性を感じました。
<u>2万人体力測定参加者を増やす</u> 大がかりな開催でなく自宅や職場で自分たちでのプチ測定会	種目が分かるようにし、正しい測定方法や年代ごとの標準データなどをお示しいきたいと思います。また、測定したデータを町にいただける方法を検討していきたいと思います。

#### 4 その他、全体を通しての主な意見等

意見等	町の考え
資料の配布があったほうが分かりやすい。(北地域、中地域では説明資料を配布しなかったため)	テーマの理解や意見交換が深まるよう必要に応じて資料を配布します。
町長との意見交換を行いたい。	進行時に、町長が意見交換に入りやすいよう配慮したいと思います。
参加者が少ない。	特に若い方に参加いただけるよう、町内の各種団体に参加の案内を行いたいと思います。また、今回参加いただいたみなさんからのご家族などへの声かけにも期待したいと思います。
地域に近い場所で開催してほしい。	学共同等での開催が考えられますが、小学校区での開催となり会場まで遠い方も見えるため、徒歩、自転車だけでなく、自動車での来場に対応できる駐車場が十分ありませんので、健康文化センター等で開催させていただきたいと思います。